

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		環境基本計画推進事業						予算事業名		環境基本計画策定事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	環境基本法							
				04	01	06	6001	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)							事業の区分		主要事業					
		2-6地球環境にやさしいまちづくり(環境保全・排水処理)														
		①循環型社会の形成							担当課係等		生活環境課					
1本市の環境の保全及び創造							環境保全係									
事業期間		継続 (平成23年度～令和 3年度)														
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
地球温暖化をはじめ地球規模の環境問題から、地域の環境問題の改善を図るための基本となる計画を策定し、環境都市宣言にふさわしい環境施策を展開し、市民、事業者、市それぞれの役割を果たすことにより、市全体が環境に配慮したまちづくりを目指す。							環境基本法第7条に基づき、環境の保全に関する施策を展開し、市全体が環境に配慮したまちづくりを目指すため。近隣の市でも、整備されつつある。									
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】									
計画を策定し、環境目標を設定し、施策ごとに、取り組み指標をつくり、市が目指す環境像を達成していくために、進捗管理を行う。							市民									
							【事業をとりまく環境の変化】									
							・従来から大気汚染や水質汚染の公害問題に加え、地球温暖化をはじめ、地球規模での環境問題が深刻である。									
							・世界共通の目標として、産業革命前からの気温上昇を2℃より1.5℃に抑える努力を追求する。									
							・温室効果ガスの排出削減対策(緩和)と既に生じている、あるいは将来予測される気候変動の影響による被害防止・軽減対策(適応)について、法律ができ、自治体も計画策定に。									
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】								
・計画を結城市HPへ掲載 ・環境基本計画の進捗状況の管理				・計画を結城市HPへ掲載 ・環境基本計画の進捗状況の管理				・計画を結城市HPへ掲載 ・環境基本計画の進捗状況の管理								
■事業費																
				R01年度		R02年度										
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0									
	県		支	出	金	0	0									
	地		方		債	0	0									
	そ		の		他	0	0									
	一		般	財	源	1,512	1,575									
歳入計(千円)				1,512		1,575										
歳 出 内 訳	節(番号+名称)				金額(千円)		金額(千円)									
	01	報酬			27		90									
	12	委託料			1,485		1,485									
歳出計(千円)(A)				1,512		1,575										
伸び率(%)						4.16										
備考	総合計画 89ページ 予算書 109ページ															

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	環境審議会・環境基本計画策定委員会実施回数	回	目標	7.00	7.00	0.00
	結城市環境基本計画改訂に伴い、審議会・策定委員会を開催する。		実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	計画策定	回	目標	0.00	1.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	環境基本法第7条、結城市環境基本条例に基づき作成する必要がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市が策定すべきものである。
	手段の妥当性	A 妥当である	世界や国、県の動向をみながら、環境基本計画を策定していく。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	計画策定にあたっては、専門知識が必要なことからコンサルティング業者に委託して進めていく。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民等の意見をききながら、環境基本計画を策定していくので、受益者の偏りはない。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	現在の計画の進捗状況を確認しながら、環境基本計画を策定していく。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	現計画の進捗状況を精査、策定方針の決定、アンケートを実施した。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
地域の環境についての現状を把握する必要がある。 環境についての市民の意識を知る必要がある。 条例に基づき環境審議会を設置する。また、庁内ワーキングチーム及び策定委員会を設置する。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
アンケートの実施 社会的なトレンド等専門的な知見についてコンサルの協力を得る。 審議会、策定委員会を設置し、策定を進める。 令和3年3月に計画書を作成する。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 総合計画策定における基本構想の考え方や事業選定などについて連携し、令和3年3月に計画書ができるよう進捗管理を行いながら進める。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	